

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

事業報告及び附属明細書

平成29年度

亀井南冥と亀井学



筑前五ヶ浦廻船



1 事業報告

平成29年度の事業実施結果について、当初計画に基づき以下のとおり報告致します。

1) 展示

(1) [計画] 福岡藩校・甘棠館の祭主（学長）であった亀井南冥が1784年に志賀島で発見された金印の鑑定を依頼されて「金印弁」を著して公表したことが、京都などの中央学者に亀井南冥の名を知らしめるきっかけとなった。後年の儒学学派間の対立にも繋がるこの金印の鑑定内容をわかりやすく展示解説する。

[結果] 金印の鑑定を依頼された亀井南冥は「金印弁」を著し、この印こそが後漢光武帝から建武中元2年（西暦57年）に我が国の「ヤマトの国王（読みは明治時代以降「漢のワノナノ国王」が定着している。）」が授かったものと鑑定した。この鑑定結果は藩に採用され、一躍亀井南冥の名を高め、儒学者間で頭角を現す端緒となった状況や経緯を展示解説した。

(2) [計画] 展示内容解説の多言語化を推進する。

[結果] 久留米大学文学部の協力を得て、展示室ごとに展示内容解説の英語化を行った。一つ一つのキャプションに係る英語化については引き続き実施方法等の検討を行う。

2) 企画

(1) [計画] 福岡県出身の中村哲医師が長年に亘って主宰して活動をしているペシャワール会の活動報告「人・水・命」写真展を企画する。また、当該企画に関連した講演会を、能古島小学校高学年～中学生および島の住民を対象として開催する。

[結果] 別館1階にて、写真展「人・水・命」を平成29年4月から同年7月にかけて開催した。

中村哲医師の講演会については、同医師の日程が確保できず、開催を断念した。

3) 広報

- (1) [計画] 広報誌「能古博物館だより」を年3回発行する（1回につき約2000部）。
- [結果] 「能古博物館だより」を2回（81号、82号）発行した。発行回数を計画より1回減らし、それぞれの部数を増やすことにより（81号：3500部、82号：3000部）、より多くの人々に博物館だよりを届けることを企図した計画変更である。
- 配布先は、個人・法人寄附者、能古島市民、市民向け広報センター、西区、各所公民館、各メディア、自治協議会、美術館、博物館、その他記事関係者など。
- (2) [計画] 年間4回、各1000枚を目処にチラシを作成し、姪浜渡船場、能古島観光案内所、アイランドパーク等に備置する。
- [結果] 計画どおり、広報チラシ「能古博物館の紹介」を印刷・発行し、姪浜渡船場、能古渡船場観光案内所、アイランドパーク等に配布・備置した。内容は、博物館の概要案内、期間限定展示案内、通し開館や年末・冬季休館と開館日の案内等。
- (3) [計画] ホームページの更新・改善を図り、Web上の広報活動の充実を図る。
- [結果] ホームページを通じて企画展示内容等をタイムリーに伝えるなど、ホームページのメンテナンスを実施した。
- (4) [計画] 能古島内各施設、姪浜及び能古島渡船場内とその周辺および能古博物館広報掲示板にポスターを掲示して休館日等を周知し、博物館来館者の利便性を図る。
- [結果] 能古島内各施設、姪浜及び能古島渡船場内とその周辺および能古博物館広報掲示板にポスターを掲示して休館日や展示内容等を周知するように取り計らった。
- (5) [計画] アイランドパーク、観光案内所、他各施設の協力を発展させるために、日常の交流促進とともに館への見学会などを進める。
- [結果] 島内各施設の担当者と情報交換を行うなどして、人的関係の強化および連携充実を図った。

4) 経営基盤の充実

[計画] 公益財団法人にふさわしい展示内容、経営基盤の充実に向けて、入館料、寄附金等の収入財源の確保を重点課題として活動する。

[結果] 平成29年度の入館者数は1676人(平成28年度は1886名)となり、前年度比11%減となった。
夏の猛暑や、3月の強風の連続など天候不順も一因であるが、集客面での対応不足が主な原因であると考えられる。博物館の認知度向上に向けて、展示内容の充実、広報手段の再検討、多言語対応への注力などが課題である。
損益概況は、経常収支が2,176千円と前年度よりも改善し、黒字決算となった。黒字原因は寄附金増加によるものである。

2 会議開催状況

1) 評議員会

開催日 : 平成29年5月27日

内 容 : 平成28年度 計算書類及び付属明細 (承認事項)

平成28年度 財産目録 (承認事項)

平成28年度 事業報告及び付属明細 (報告事項)

評議員の選出

理事の選出

監事の選出

開催日 : 平成30年3月20日

内 容 : 平成30年度 事業計画書及び収支予算書 (承認事項)

平成30年度 資金調達及び設備投資の見込み (承認事項)

2) 理事会

開催日 : 平成29年5月12日

内 容 : 平成28年度 事業報告及び付属明細 (承認事項)

平成28年度 計算書類及び付属明細 (承認事項)

平成28年度 財産目録 (承認事項)

平成28年度 監査報告 (報告事項)

評議員会招集 (承認事項)

理事長、常務理事による職務執行状況報告 (報告事項)

開催日 : 平成29年5月27日

内 容 : 理事長及び常務理事の選出

開催日 : 平成30年3月10日

内 容 : 平成30年度 事業計画書及び収支予算書 (承認事項)

平成30年度 資金調達及び設備投資の見込み (承認事項)

評議員会招集 (承認事項)

理事長、常務理事による職務執行状況報告 (報告事項)

3 役員等の状況

平成29年3月31日現在

役名	氏名	担当職務
理事	原寛	理事長
理事	西牟田耕治	常務理事
理事	黒田康介	理事
監事	牧健太郎	監事
評議員	原祐一	評議員
評議員	塚本昭二	評議員
評議員	有吉通泰	評議員
評議員	江頭啓介	評議員

事業報告の附属明細書

事業報告書に記載の他、該当無し。